

きらめく 津山人

津山市地域おこし協力隊

中河 俊昭 さん (大田)

今年4月から津山市地域おこし協力隊として、大阪府から津山市に移り住む。NPO法人エコネットワーク津山など、環境問題に取り組む市民団体や地域団体、事業者などと協働し、再生可能エネルギーの活用や環境施策の推進・充実に取り組んでいる。



水の学校で水生生物の生態を教える中河さん

森の学校

とき 11月27日(日)午前9時～

ところ 衆楽公園駐車場集合→久米山(神代)

内容 野鳥や動植物の観察、炭焼き体験など

対象 市内の小学生と保護者

申込方法 低炭素都市推進室へ電話または直接申し込む

問低炭素都市推進室(市役所1階)

☎32-2051

津山市地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは？

津山市が募集していた活動内容の「エネルギーと環境分野からの地域活性化」に魅かれたことがきっかけです。

わたしは鳥取県出身で、大阪で建築士として働いていました。近年、住宅の新築を希望する人から、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用に関する要望が多く、学びを深めるうちに、自分自身が、エネルギーや環境の分野で何かできることがあるのではないかと考えるようになりました。そして、出身地の近くに帰って働こうと考えた時、津山市が協力隊を募集していることを知り、その内容がまさに自分がやりたかったことでした。

地域おこし協力隊の活動について教えてください

市民団体であるエコネットワーク津山の環境学習などの活動支援や低炭素都市推進室の再生可能エネルギー活用などの業務に携わっています。これまで親子エコフェスタや水の学校などの環境学習を実施しました。皆さんと一緒に学び、楽しみも味わっています。

現在、11月に開催予定の自然体験学習・森の学校の準備を進めています。たくさんの人に気軽に参加していただき、津山の自然環境の豊かさを学んでもらえると嬉しいです。

今後の目標は？

建築士として持ち合わせている住宅に関する知識と、現在学んでいることを組み合わせ、環境意識を普及していきたいです。

先日、各家庭の光熱量や二酸化炭素排出量について、それぞれの生活様式に合わせて適切な指導や提案を行う「うちエコ診断士」という環境省認定の公的資格を取得しました。身近なところから環境意識を高め、環境分野で地域を盛り上げたいと思っています。



今年4月に開館した津山まなびの鉄道館。9月末で早くも来館者数5万人を達成しました。ゴールデンウィークには多い日で1日に1千人ものお客様が訪れ、その多くが県外からのよう。県外から来てくださる方々に、良い気分を津山を楽しんでいただき、思い出を持ち帰ってもらいたいですね。(W)

取材に行った衆楽園の観月会というイベントで、俳句会がありました。俳句の講評を聴き、短い言葉で、さまざまな表現をする俳句の奥深さを改めて感じました。そこで、娘の運動会で、一句「運動会、駆けるわが子に、笑みこぼれ」当日は、写真撮影に力が入りました。もっと肉眼で見たい。(雨)

台風や秋雨の影響で田んぼに水が溜まり、なかなか稲刈りをする事ができませんでした。土があまり乾いていみせんでしたが、この日を逃すと、しばらく雨が降る予報だったので、あまり休憩をせず、なんとか稲刈りを終わらせることができました。苦勞して収穫した米は、格別な味がします。(S)

今月の表紙

実りの秋を実感！
稲刈り体験学習

9月12日(弥生小学校)

